

宮城県行政経営推進委員会における評価の実施について

1 趣旨

県が実施した行財政運営・改革の取組について、外部有識者で構成する宮城県行政経営推進委員会（委員 8 名）において、客観的な立場で取組を評価し、今後の行財政運営・改革の取組に生かすもの。

2 評価対象

宮城県行財政運営・改革方針（第 1 期）令和 3 年度実施状況報告の対象取組
取組数 50（内訳：個別取組 46，共通取組 4）

3 評価方法

(1) 各委員は、各所属が実施した取組の内容及び内部評価（自己評価）に対して、取組の成果や過程を下記により評価します。

イ 優れている点、良かった点について、次の評価基準から選択します（3つまで選択可）。

県民ニーズ把握	先見性	先進性	広域性
県民参画	民間の活力	財源確保	デジタル技術活用
スピード感	利便性	サービスの質	県民満足度
安心・信頼	情報発信	説明責任	見える化
事務効率化	コスト削減	創意工夫	費用対効果
職員能力向上	汎用性	ワークエンゲイジメント	組織活性

ロ 意見コメント（任意）

特に評価すべき点がある場合は、具体的な意見をコメントします（40字程度）。

例) 更に効果を期待すること、改善点へのアドバイス 等

(2) 委員会を開催し、各取組の評価について委員間で意見交換を行います。

(3) 委員会事務局（行政経営推進課）で各委員の評価を取りまとめ、各委員へ確認の上、委員会における評価として決定します。

なお、評価基準については、委員の選択した数の多い上位3つを評価とします。

4 スケジュール（予定）

令和 4 年 6 月中旬	評価対象となる取組，評価シートを各委員へ送付 【委員】取組の評価
令和 4 年 7 月 4 日	行政経営推進委員会で審議 【委員】各取組の評価について意見交換
令和 4 年 7 月中旬	各委員の評価を取りまとめ，各委員へ確認の上，委員会評価として決定，各所属へフィードバック
令和 4 年 7 月下旬	宮城県行財政運営改革方針（第 1 期）令和 3 年度実施状況報告書を調製
令和 4 年 8 月 1 日	行政改革推進本部会議で審議・決定
令和 4 年 8 月 19 日	県議会総務企画委員会へ報告，公表

取組●●

見出し（取組内容）

取組の概要説明

取組報告様式の説明

- ・各取組 1 ページで作成しています。
 - ・上段から中絶にかけて取組内容の概要を記載しています。
 - ・下段「取組のポイント」及び「実施効果や課題」には自己評価を記載しています。
 - ・下段「外部評価」には行政経営推進委員会における各委員の評価を事務局で取りまとめて記載します。
- ※共通取組は一部体裁が異なります。

上記の概要説明を補足する図（県ホームページ、パンフレット、ポンチ絵、表、グラフ、ロゴ、写真、これらの組み合わせなど）

参考：ページタイトル●●（県 HP）

上記ページ URL

取組のポイント

取組前・取組中

内部評価（自己評価）

取組の動機や背景、どのような効果を狙ったかなどの目的、取組の新規性、取組過程でどのような工夫をしたかを記載しています。

実施効果や課題

取組後

内部評価（自己評価）

取組を実施したことにより得られた効果、その他波及効果、汎用性、貢献性、今後の課題を記載しています。

外部評価

良かった点 ○○○○ ○○○○ ○○○○ （上位3つ）

✓ 評価コメント